

事例報告をいただきました。基調講演は、めぐみ在宅クリニック院長 小澤竹俊先生から「在宅医療のニューノーマル」として、解決できない苦しみを抱えた人が穏やかな笑顔になれる方法は？そして我々在宅に係る者自身が心折れずに仕事を続けて行くためには？についてお話をいただきました。ひさしぶりの現地開催(ライブ配信なし)で、会場全体が笑いと涙の渦に巻きこまれ、感動的な時間でした。今後一層増加する在宅医療への足掛かりを共有する場になったと思います。一般演題は、各施設の取り組みについて幅広い内容で6演題のご発表をいただきました。108名のご参加をいただき盛会のうちに終わることができました。本学術集会開催にあたり、ご支援ご協力いただきました関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

第19回鳥取支部学術集会

学術集会会長：国立病院機構米子医療センター院長
久留一郎

2023年9月23日(土)に、米子医療センターくずもホールにて本学術集会を開催いたしました。新型コロナ流行による



会場風景

1度の中止、2度のオンライン開催をはさみ、4年ぶりに対面での開催ができましたことをうれしく思います。「多職種連携によるチーム医療」を学術集会テーマに掲げ、特別講演には鳥取大学保健学科教授 加藤雅彦先生をお招きし、「多職種連携の重要性と今後の課題」と題し大変有意義なご講演を賜りました。またシンポジウムでは5病院から5職種のシンポジストにご発表いただき、各病院での取り組みや課題について貴重な情報交換ができたものと思います。また、一般演題(口演)は9題、ポスター発表には17題の発表が行われ、活発な討論が行われ実りある学術集会となりました。感染症が沈静化しないなか、予想以上の134名にご参加いただき、会場が手狭になるほどでした。ご参加いただきました皆様、ご協力を賜りました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

第16回三重支部学術集会

学術集会会長：JA三重厚生連 鈴鹿中央総合病院院長
北村哲也

2023年9月30日(土)秋晴れの中、国立病院機構三重中央医療センター研修棟大会議室にて第16回日本医

療マネジメント学会三重支部学術集会を開催いたしました。

テーマを『「働き方改革」を使いこなす～意欲向上と能力発

揮のために～』とし、84名のご参加をいただきました。準備段階から学術集会の問合せを多数いただいたり、今までご参加いただいた事のない施設から演題のお申込みをいただいたりと、開催前から盛り上がりを感じた学術集会でした。

一般演題は、昨年より多い13題のご発表をいただき、特別講演では、JA長野厚生連佐久総合病院の西澤延宏先生に「働きがいのある働き方改革に向けてーPFM(Patient Flow Management)の導入ー」と題してご講演いただきました。PFM導入により患者様への安全で質の高い医療の提供と同時に、タスクシフトをした上で各専門職が自律して働き各職種が連携しながら専門性を最大限に発揮する事により、「働きがいのある働き方改革」が実現できるとご教示いただきました。活発な意見交流がなされ有意義な一日となりました。

最後に、開催にあたりご支援とご協力を賜りました関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。



会場風景

第21回島根支部学術集会

学術集会会長：島根県立中央病院病院長 小阪真二

2023年9月30日(土)、ビッグハート出雲にて第21回島根支部学術集会を開催させていただきました。県内から



会場風景

217名の方に参加していただきました。

本学術集会のテーマは新型コロナウイルス感染症が五類感染症に移行となり、以前より進められてきた地域医療構想に伴う病院の機能分化と地域連携が推進されるであろうと考え、「地域完結型医療への道」とさせていただきます。

特別講演として、倉敷中央病院臨床検査・感染症科主任部長 橋本 徹先生に「地域医療エコシステムによる地域医療連携」と題して、倉敷市における医療連携につ